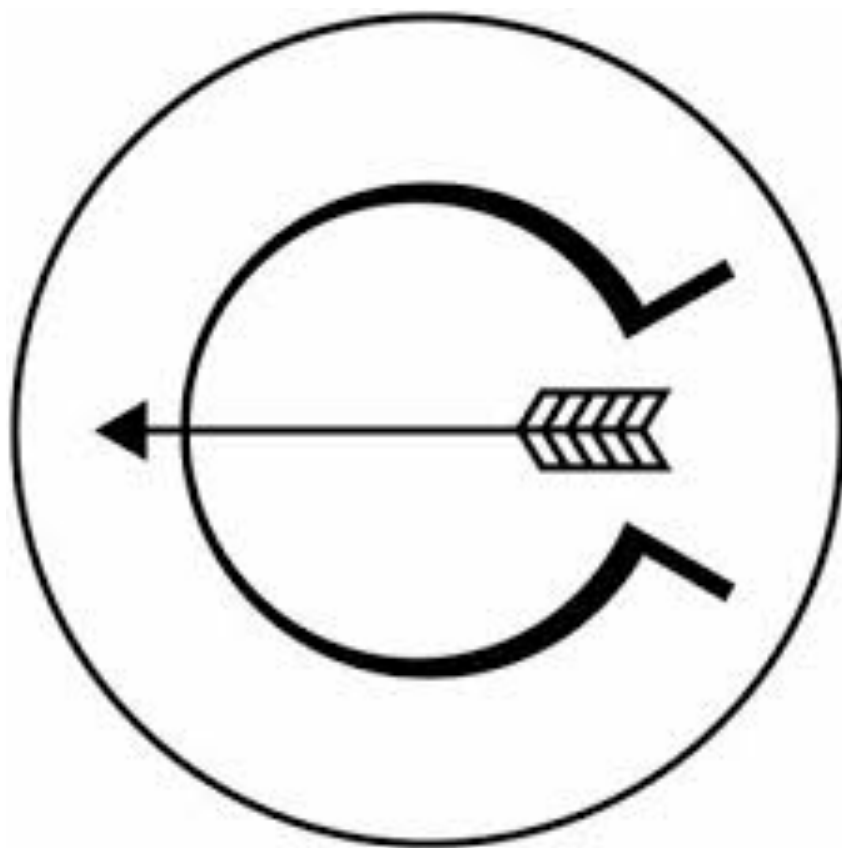


第71期 東京都学生弓道連盟

都学リーグ戦・女子部リーグ戦

大会要項【第4版】



東京都学生弓道連盟

【目次】

第0部 実施要項

第1部 第I週～第V週について

試合日程・試合進行表

持ち物一覧

試合進行詳細

試合中のトラブルシューティング

FAQ

不可抗力的理由に伴う日程変更と対策について

第2部 入替戦・順位決定戦等について

試合日程表

三つ以上の順位決定戦・入替戦について

東西対抗戦選手決定競射について

リーグ戦個人的中記録会について

試合中のトラブルシューティング

FAQ

第3部 共通事項・参考資料

リーグ入れ替え方式(対戦校の決定方法)について

台風等の気象対策について

規約上の競技規則と補足

【更新履歴・主な変更点】 蛍光マーカーで示している箇所

2024.09.09 一部誤植の訂正、交代届提出の手順の明確化。

2024.09.18 立順登録用紙、交代届の照合項目の追加。

2024.10.20 一部誤植の訂正、矢取りの文言の統一、記録会の開催日時の明記。

令和6年8月29日

第71期リーグ戦・女子部リーグ戦 実施要項

東京都学生弓道連盟
会長 小笠原 清忠
委員長 宮良 由宇土

1. 日 時

<立合講習会>	令和6年9月7日(土)	
<試合日時>	I 週目	9月15日(日)
	II 週目	9月22日(日)
	III 週目	9月29日(日)
	IV 週目	10月06日(日)
	V 週目	10月13日(日)
	予備週	10月20日(日)
	順位決定戦	10月27日(日)
	入替戦	11月03日(日)

※天候不順の場合は委員長から通達し、予備週に実施。

試合時間

(男子)

午前試合：附矢 9:40~11:10 試合開始 11:25~

(女子)

午前試合：附矢 9:40~10:20 試合開始 10:40~

午後試合：附矢 14:40~15:20 試合開始 15:40~

2. 場 所 第三者道場にて**対面開催**

3. 参加資格 本連盟加盟大学(参加登録フォームで出席と回答した大学)

4. 出場資格 本連盟に部員登録している者。
リーグ戦に参加する者の部員登録は8/31までとする。

5. 競技方法 リーグ方式による総当たり制。
 男子：1立4名順立を2立(1選手20射、計160射)
 女子：1立4名順立(1選手20射、計80射)
 定員(男子は8名、女子は4名)に満たない場合は定員未満の人数
 (男子は6名または7名、女子は3名)であっても出場できる。
 控え選手は4人とする。
 的中同数の場合は、一手競射により勝敗を決定。
 それによっても決定しない場合は、勝敗が決定するまで一本競射を行う。
6. 選手交代 選手交代する時には、当該の立が本座線を越えて入場する前に立合及び相手校に、本連盟の定める書類にてこれを通知しなければならない。
- 選手交代があるときは、選手交代をする大学から相手校、立合に**都学連指定の書類**を用いて共有する。正式な書類で受理されていない交代で出た選手の的中、あるいは、交代が受理される前に本座線を越えて入場した選手の的中は、**全て外れ**となるので注意すること。
7. 表彰 団体 各リーグ・ブロック優勝
 個人 皆中賞(20射皆中)
 個人的中率上位10名
 (最低射数60射・競射、順位決定戦、入替戦の的中は含めない。)
 新人賞3名
8. 注意点
 以下に記載する情報は、試合を公正かつ円滑に行うために必要不可欠なものである。
 立合校・会場校を中心に必ず熟読すること。

競技校間の連絡に利用するオープンチャットについて

各競技校責任者は、当連盟が別途公表する資料を参照し、自身の大学と関係のある試合の番号とそのオープンチャットを確認すること。

当該試合の関係校が全て揃い次第、**立合校主体で打ち合わせを開始すること**。会場校が大学へ名簿の提出等を必要とする場合がある為、速やかに行うこと。

諸事由による試合実施日の変更や順延について

本大会においては「本連盟が天候不順などの理由で全競技校に対して一律に試合の延期を要請した場合」以外は、順延を認めない。

※詳しくは大会要項参照。

行射中の選手に対する指導矢声の一部規制について

以下の文言を含む矢声を禁止とする。

- ・上下左右
- ・前後
- ・天地
- ・的を時計の文字盤に見立てた方向(三時、九時等)

これらの文言を含む矢声をかけられた選手の的中は、当該行為以降においての矢を全て外れとする。

引き直しについて(都学連規約第四十五条)

- ① 引き直しに該当するかどうかの判断は審判(立合)が行う。
- ② 当該校が引き直しを主張できるのは、当該選手が次の矢の打起しを行うまでとする。但し、最終矢に関しては、的中確認まで主張できるものとする。
- ③ 引き直しが確定した場合は、全選手が留め矢まで引き、矢取りと確認が行われた後に当該選手が引き直しを行う。

例：大前の二本目が引き直しとなった場合

- ① 当該校から引き直しの要求がかかる。
- ② 立合校がその要求を吟味し、了承する。
- ③ 全選手が留め矢まで引き終わるのを待つ。
- ④ 全員が退場し、確認及び矢取りが行われる。
- ⑤ 主審(立合校)の指導で、引き直しが行われる。

【引き直しとなることが明確な事例】

- ・ボールなどの障害物が当該選手に衝突した場合
- ・障害物が矢道に侵入し、当該選手の的が一時的に見えなくなった場合

※その他、特別な事象が発生した場合は、その都度立合が引き直しに該当するか判断する。どうしても公平な判断が難しいとされる場合には、直ちに本連盟まで問い合わせる。

的中確認のタイミングについて

競技校は、行射中は一本毎に、行射後は矢取り以前に各的の的中を立合に報告しなければならない。

ここで言う行射中の一本ごとの的中確認とは、看的表示のことである。

確認前の矢への接触行為について

確認を行う前に矢または的に接触した場合、その的全ての矢を外れとする。接触行為にあたるかどうかの判断は、対戦校から事実確認の上、立合が判断する。

的中確認方法や文言について

【的中確認の文言(原則に則っていれば文言の多少の変更・調整は可)】

的場 「確認します。」

立合 「はい。」

的場 「大前()中。」

立合 「はい。」

※この時、立合の返事があるまでの場の者は次の的に進まない。

的場 「二的()中。」

立合 「はい。」

(中略)

的場 「落()中です。」

立合 「はい、結構です。矢取りお願いします。」

※立合の返事があるまで、全ての矢に絶対に触れてはいけない。

リーグ戦期間中の練習試合の禁止について

リーグ戦期間中の練習試合を原則禁止とする。但し、予備週の練習試合は認める場合がある。

本連盟が定める期日までに、メールにて本連盟の許可を得た場合のみ、練習試合・合同練習を認める。

※リーグ戦期間は「9月14日(土)～11月03日(日)」までとする。

※申請期日は練習試合実施予定日の一週間前までとする。

例：9月14日に練習試合を行う場合は、9月07日の23時59分までに申請。

女子の選手について

リーグ戦には女子の出場も可能とし、女子出場人数は1試合最大3人とする。

リーグ戦に出場した女子の選手は女子部リーグ戦・伊勢大会に出場することは出来ないので注意すること。

※本連盟規約第五十四条を熟読すること。

9. 選手登録

① 選手登録方法概要

：全日本学生弓道連盟ウェブサイト 大会選手登録

② 全日本学生弓道連盟ウェブサイトにおける大会選手登録

・大会選手登録期間：**2024年8月16日(金)~8月31日(土)23:59**

・大会選手登録は全日本学生弓道連盟ウェブサイトにて行う。詳細は全日本学生弓道連盟より配布されている大会選手登録マニュアルを参照すること。

・部員登録がなされていない部員が期限内に大会選手登録を行うためには、大会選手登録期間中に追加部員登録を全日本学生弓道連盟のウェブサイトから行う必要がある。

・チーム選択は全て「A チーム」とする。

※注意点

氏名の漢字、ふりがな、学年正しいか確認すること。

万が一違っている場合は、全日本学生弓道連盟に修正依頼すること。

第1部 第I週～第V週について

◆ 試合日程・試合進行表

○第I週～第V週(対面開催)	
8月10日(土)	定時総会
9月15日(日)	リーグ戦第I週
	女子部リーグ戦第I週
9月22日(日)	リーグ戦第II週
	女子部リーグ戦第II週
9月29日(日)	リーグ戦第III週
	女子部リーグ戦第III週
10月06日(日)	リーグ戦第IV週
	女子部リーグ戦第IV週
10月13日(日)	リーグ戦第V週
	女子部リーグ戦第V週
10月20日(日)	予備週

※女子試合日程詳細

	I	II	III	IV	V
一位	午前	-	午後	午後	午前
二位	午後	午後	午前	-	午前
三位	-	午前	午前	午後	午後
四位	午後	午前	午後	午前	-
五位	午前	午後	-	午前	午後

・ブロック内の校数が四校の場合、午前午後の決定は欠落する試合に関わらず上記の表に準ずる。

・ブロック内の校数が三校以下の場合、原則試合は午前実施に統一する。諸事情により午後変更を検討する場合は、学連に問い合わせること。やむを得ない事情か否か、学連が判断する。

【男子試合】	
9:00	道場校準備完了
9:05	下位校・立合 到着 ※三つ巴以上の場合は最下位校到着時刻 ※三つ巴以上の場合、下位校は 9:05～10の間に到着するようにする。 ※立合校は9:05には師範席(立合の席)について待機
9:10	上位校到着 ※上位校は9:05には到着して9:10には入場できるようにする
9:40	附矢 開始
11:10	附矢 終了
11:25	試合開始(開会式)

【女子午前試合】	
9:00	道場校準備完了
9:05	下位校・立合 到着 ※三つ巴以上の場合は最下位校到着時刻 ※三つ巴以上の場合、下位校は 9:05～10の間に到着するようにする。 ※立合校は9:05には師範席(立合の席)について待機
9:10	上位校到着 ※上位校は9:05には到着して9:10には入場できるようにする
9:40	附矢 開始
10:20	附矢 終了
10:40	試合開始(開会式)

【女子午後試合】	
14:00	道場校準備完了
14:05	下位校・立合 到着 ※三つ巴以上の場合は最下位校到着時刻 ※三つ巴以上の場合、下位校は 14:05～10の間に到着するようにする。 ※立合校は14:05には師範席(立合の席)について待機
14:10	上位校到着 ※上位校は14:05には到着して14:10には入場できるようにする
14:40	附矢 開始
15:20	附矢 終了
15:40	試合開始(開会式)

➤ 持ち物一覧

競技校

※必ずデータではなく印刷したものを用意する。

※予備は多く印刷しても良い。

- 東京都学生弓道連盟規約(令和6年8月改正版)
 - HPより印刷する。
- 公式記録用紙(1枚+予備2枚)
 - HPより印刷する。
- 立順登録用紙(2枚+予備2枚)
 - HPより印刷する。
 - 開会式にて相手校・立合校に提出する。
- 選手交代届(4枚+予備4枚)
 - HPより印刷する。
- 選手登録用紙(自校と相手校を一部ずつ)
 - オープンチャット等で配信されたものを印刷する。保存期間に注意すること。
 - **必ず確定版を用意すること。**
 - 立順登録用紙、選手交代届を記入する際必ず参照すること。
- 大会要項
 - HPより印刷する。
 - 必ず最新版を用意すること。
- 筆記用具
- 大学印
 - 大学印がない場合は、本連盟に連絡すること。
- 各校の持ち物

立合校

※必ずデータではなく印刷したものを用意する。

※予備は多く印刷しても良い。

- 東京都学生弓道連盟規約(令和6年8月改正版)
 - HPより印刷する。
- 公式記録用紙(1枚+予備2枚)
 - HPより印刷する。
 - 予備を多めに印刷することを推奨する。
- 選手登録用紙(競技校分)
 - 出場する選手の名前確認に使用する。
 - オープンチャット等で配信されたものを印刷する。保存期間に注意すること。
 - **必ず確定版を用意すること。**
- 立順登録用紙(4枚)
 - HPより印刷する。
 - 競技校が所持していない場合、2枚渡す。
- 立合状(競技校分)
 - 公平で正常な立合をしたことを証明すること。
 - 附矢が開始したのち、競技校に1枚ずつ手渡しする。
- 大会要項
 - HPより印刷する。
 - 必ず最新版を用意すること。
- 筆記用具
 - 黒ボールペン・赤ボールペン
 - 赤は選手交代の明示、的中訂正、その他の訂正に使用する。
- 印鑑(主審・副審の名前の印鑑)
- 矢筒と甲矢・乙矢(3校以上の場合は競技校分)
 - 3校以上の場合は、先攻・中攻・後攻を書いたものを用意する。

➤ 試合進行詳細

諸注意

※立合は試合進行を円滑にするために適切な注意を行うことを要するが、その判断は規約に基づいて厳正・中立でなくてはならない。

※試合進行の時間は会場の時計を用いることを原則とする。但し、会場に時計が無い場合には主審の裁量で基準とする時計を決定する。

※立合は原則として、主審・副審の二名で構成される。

※立合に不都合な行為があった場合、本連盟は事実確認の上、懲戒処分を行う。

※会場校の仕事は二名もしくは三名で行うことを想定しているものとする。

※不明点が出た場合には必ず本連盟に電話で問い合わせること。当日は学連事務所、当日以外はメールにて問い合わせをすること。

※オープンチャットはこまめに確認し、必ず返信すること。

※的数が少なく、附矢時間を延長する場合には前日までに必ずメールにて延長申請すること。

※選手の名前に漢字・学年・新旧人の間違いが無いか必ず何回も確認してから立合・競技校に提出すること。

昨年度からの主な変更点

※荷解きは必ず挨拶が終了してから行うこと。

※立順登録用紙・選手交代届は必ず相手校に提出する分も全て立合に提出すること。

- 開会式の際に競技校間での交換は行わない。
- 選手照合が終了したのち、立合が競技校に譲渡する。
- 選手交代をする際にも同様に立合に全て提出する。照合後、立合が競技校に譲渡する。

※競射の集合・矢振りは行わない。開会式にて決定した先攻・後攻に準ずるものとする。

0. オープンチャットでの打ち合わせ

立合校主導でオープンチャットでの打ち合わせを開始する。

以下の項目について確認すること。

● 会場校に対して

① 道場の特性

- ・会場校の道場の特性について知らせておくべき事がないかを確認する。
例)巻藁の個数、雨天時の注意点等。

② 的数

- ・附矢で使用できる的数が一校あたり4的であるかを確認する。
4的未満であれば、附矢時間を延長するかを各競技校に確認する。
- ・附矢の延長を希望する場合、試合実施日の前日までに本連盟にメールで延長を申請する。許可が出た場合のみ、延長を認める。

※附矢時間は、道場の立てることができる的数によって延長することができる。
→一校4的を基準とし、的数の減少分の割合を附矢時間に掛けて、1的あたりに使える時間を増やす。

例)一校3的しか道場に立たない場合

40分→53分(40分×4的/3的≒53分)

※ただし、事前に連盟まで報告し、指示があった場合のみ適応する。

当日に本連盟に延長する旨を報告しても認めない。

● 競技校に対して

① インターバルの有無

- ・インターバルの時間を競技校同士で決めるように主導する。
インターバルを設けるか、設けないか。
設けるならば、その時間を決定する。(試合終了時刻に影響が出ない範囲)

② 附矢の矢取り方法

- ・附矢の矢取り方法について決める。原則上位校主導の矢取りの仕方とするが、安全面に配慮した矢取り方法であるならば、それ以外の矢取り方法でも許可する。

③ 試合中の矢取り方法

- ・当日の道場説明の時間に試合中の矢取り方法について話し合うことを競技校に伝える。

④ その他必要事項

- ・当日の試合が円滑に進むように疑問点等は解消しておくこと。

1. 会場準備(附矢開始時刻 40 分前まで)

会場校

- ① 道場番を務めている部員が会場の清掃を行い、競技校並びに立合校を迎え入れるための準備を行う。
- ② 道場番は試合終了まで待機し、附矢後の替え等を担当する。

〈原則の的数〉

※附矢的はビニールの的でも可。試合的、予備的は紙的であること。

附矢	試合	予備
8 (4・4) 的	4 的	2 的

2. 会場到着

立合校

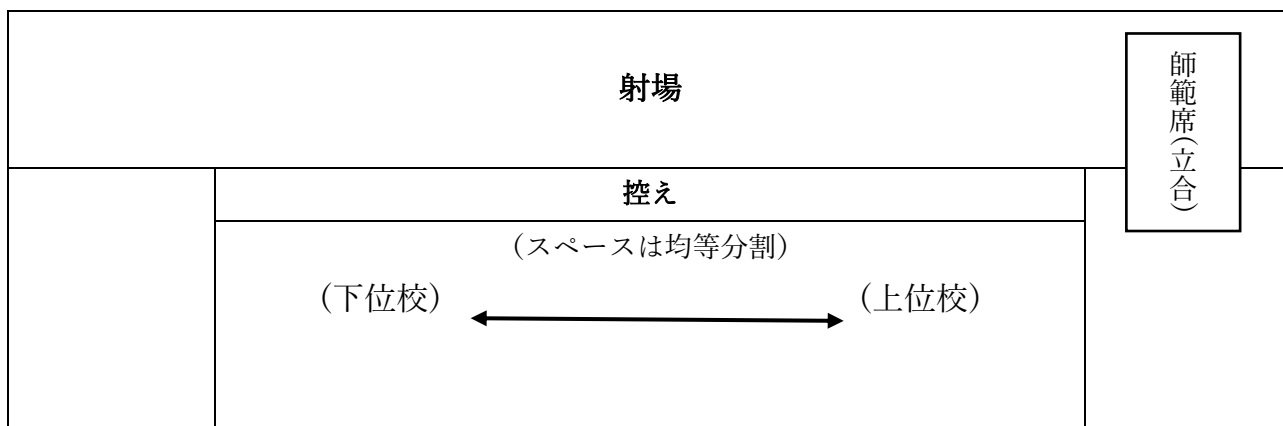
- ① 立合は附矢開始時刻 35 分前までに師範席(立合席)に着席すること。

下位校

- ① 競技校のうち、リーグ編成表内にて下位の大学が会場に先に到着する。
- ② 道場番に入場・入室してよいかを確認する。
- ③ 確認の後に入場し、控えの下座側（神棚より遠い側）にて全員待機する。

上位校

- ① 競技校のうち、リーグ編成表内にて上位の大学が会場に後に到着する。
- ② すでに控えにて待機している下位校の大学の代表（主将等）に入場してよいかを確認する。
- ③ 確認の後に入場し、先に待機している下位校に対して挨拶を行う。



2. 試合開始前の最終打ち合わせ

競技校

- ① 競技校は挨拶後、弓具などの荷解きを行う。
※入場前の荷解きは禁止とする。
- ② 道場説明を受け、相手校との矢取り交渉をする。附矢の最中の矢取り方法やタイミング等を競技校・立合校・会場校と相談する。その他必要事項があれば、この段階で相談する。
- ③ 附矢開始まで調整並びに試合開始準備をする。

会場校

- ① 道場番は各校の担当者を集めて道場利用にあたっての諸注意(飲食、巻藁、トイレ、ドライヤーのコンセント、喫煙、控室など)を附矢開始までに説明する。
また、矢取り交渉の場においても同席し、矢取り道等施設使用に必要な情報提供をすること。その他必要事項があれば、この段階で相談する。
- ② 競技校からの質問に答えられるように待機する。

立合校

- ① 持参の立合書類の確認を行う。
 - ② 会場校と設備・進行確認をする。
 - ③ 双眼鏡の有無の確認をする(無い場合は用意してもらう)。
 - ④ 試合で使用する箭の確認する。予備のも含め、十分な数を用意してあるか側面の箭紙が剥がれていないか確認する。
- 矢取り方法について
立合が主導し、競技校同士の話し合いを進める。
附矢の矢取りのタイミング・安全確認はどちらが主導するか、試合進行中の安全確認・箭中確認の方式確認(後述)等、必要事項を事前に話し合っておく。
会場校もこの場に参加するように呼びかける。
- その他注意事項確認(声出しの可否、行射中の箭的方法の確認)
携帯電話の設定を確認する。学連事務所(03-6910-0791)にすぐ連絡できるようにしておく。また、着信音がならないようにする。

※円滑に試合が実施できるように、不安点はここで十分解消しておくこと。

3. 附矢

競技校

- ① 附矢開始時間まで調整を行う。
- ② 附矢の開始の合図で附矢を開始する。
- ③ 附矢終了時間までに立順登録用紙を提出できるように準備する。

※同一人物が記入することを強く推奨する。

※学連指定の書類を使用すること。

※記入例と同様に記入する。

- ④ 持ち矢がかかったら必ず持ち矢で終了すること。

会場校

- ① 的替えが速やかに行えるよう準備し、附矢終了間際まで待機する。
- ② 附矢が終了したら的替えを行う。

立合校

- ① 附矢開始宣言
 - ・開始時間が迫ってきたら主審は師範席(立合席)の前に立ち、開始時間になったら「**附矢を開始してください。**」と宣言する。
- ② 立合校は立合状を対戦校に配布する。
- ③ 附矢中は安全確認がしっかりできているか、円滑に附矢が進行しているかを監視すること。
- ④ 附矢終了時刻1分前になったら、「**持ち矢をお願いします。**」と附矢の終了を宣言する。
- ⑤ 附矢が終了次第、主審が的見をする。

※遅刻処理・棄権処理について

- ・競技校の遅刻が発覚したとき、その時点で立合校は学連事務所に報告する。
- ・競技校が附矢開始に遅刻した場合、遅刻する競技校を待たず、間に合っている競技校で附矢を開始してよい。なお、この処理は遅刻理由の正当性によらない。
- ・競技校が試合開始時刻に間に合わない場合、あるいは欠席した場合、その競技校を棄権校として扱う（ただし、学連側の不手際や天変地異など、正当な理由がある場合は除く。理由の正当性については、判断に困るようであれば学連側で判断するので、連絡すること）。

また、競技校の棄権が確定した時点で、学連事務所に連絡をする。学連の判断により棄権となった場合には、主審が師範席にて不戦勝宣言を行う。

「_____大学の欠席により、_____大学の不戦勝とします。」

4. 的見

競技校

- ① 控えて待機する。
- ② 主審の合図で持ち的の確認を各校同時に行う。
選手はそれぞれの主将に変更するかを伝え、主将はその旨を主審に伝える。位置を変更した場合、変更した的のみ再度的見を行う。
- ③ 附矢終了時間までに立順登録用紙を立合校・競技校分提出できるように準備する。

会場校

- ① 附矢が終了したら的替えを行う。
・ 的串は刺さずに、的の下部を押して的を立てるだけの状態にする。
- ② 的見が終わりの串での的を固定出来次第、試合終了まで待機する。

立合校

- ① 的見を行う。
 - 原則的見は以下のやり方で統一する。

- ・ 的の呼び方 → 大前・二的・落前・落
- ・ 位置の替え方 → 「○○(気持ち)前(後ろ)にしてください。」
- ・ 高さの替え方 → 「○○(気持ち)上げてください(下げてください)。」
- ・ 傾きの替え方 → 「○○を○○時頃押してください。」

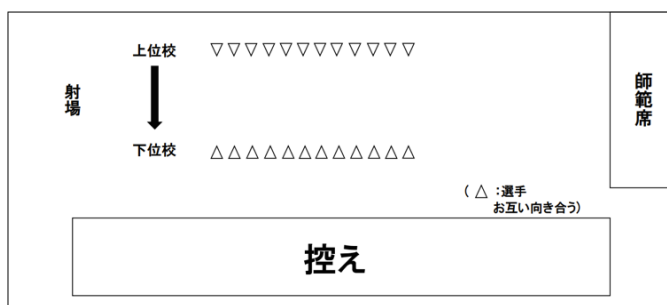
- ② 各校が控えに揃い、主審は大前側の射位に立つ。
- ③ **「持ち的の確認をお願いします。」**
- ④ 持ち的の確認は各校同時に行う。
 - ・ 各校の主将からの的の変更の有無を伝えられるため待機する。
- ⑤ 確認が完了したら **「結構です。」** と言い、的串を付けさせる。

5. 開会式

- 今期より立順登録用紙・選手交代届は全て立合に提出する。
- 今期より競射の先攻・後攻もこの矢振りに準ずる。(詳細は後述)

競技校

- ① 控えで待機する。
- ② 附矢中に用意した立順登録用紙を立合校・競技校分の計2枚準備する。
- ② 主審から各競技校に試合開始の確認をされるので承諾する。
- ③ 主審の「ご集合願います。」の合図をもとに、射場にて整列する。
- ④ 立順登録用紙を立合校・競技校分全て主審に提出する。
- ⑤ 試合の先攻・後攻を矢振りにより決定する。
(競射の先攻・後攻は試合の先攻・後攻に準ずるものとする。)



立合校

- ① 試合開始宣言の前に各対戦校に確認を取る。順序は以下のようにする。
 - 上位校から順に責任者の前で正座し、礼をする。
 - 小声で「時間となりましたので(お時間少々早いようですが・遅くなりましたが)試合を開始させていただいてもよろしいでしょうか。」と試合開始の可否に関して確認する。
 - 承諾が取れたら、礼をして立つ。
 - 主審・副審が師範席前に揃う。

- ② 試合開始宣言を行う。順序は以下のようにする。
- 「ご集合願います。」と言い、両校の選手を整列させる。
 - 整列後、「只今より、第71期(リーグ戦・女子部リーグ戦)第____週、____大学対____大学の試合を開始させていただきます。」と言う。
 - その後、立順用紙提出を行う。
「試合に先立ちまして、両校(各校)責任者は立順用紙の提出をお願いいたします。」
 - 試合の順番を決めるために矢振りを行う。
「試合の先攻・後攻は矢振りにより決定いたします。両校(各校)責任者の方、じゃんけんをお願いします。」
「只今の矢振りの結果、先攻____大学、後攻____大学により試合を開始させていただきます。」
 - その後、処理の仕方を伝える。
「なお、試合中に生じた出来事につきましては、学連規約により処理させていただきます。双方(各校)、礼。」

※矢振りについて

- イ) 両校責任者のじゃんけんが終わったら、持参した矢筒を開け、矢を取り出す。この時、2本を10cm程度ずらして羽を見せ、両校責任者に、甲矢と乙矢が一本ずつ入っていることを確認させる。
- ロ) 確認が終わったら、矢を矢筒に戻す。この時、筈が矢筒の底に向くようにひっくり返すことを忘れない。
- ハ) 蓋をして、矢筒をふる。体の前で斜めに持って三回、後ろで斜めに持って三回、最後にもう一度前で斜めに持って三回ふる。
- ニ) もう一度矢筒を開け、矢尻の方を見せて両校責任者に矢を選んでもらう。なおこの時、副審は2本を10cm程度ずらして見せることに気を付ける。また、この時の矢を選ぶ順番は、じゃんけんの勝った方からとする。
- ホ) 甲矢を取った方が先攻、乙矢を取った方が後攻となる。確認を終えたら、先攻の競技校の責任者は、「先攻」と宣言する。その後に、後攻の競技校の責任者は同様に「後攻」と宣言する。
- ヘ) 両校の宣言の結果を受けて、主審が開会式を続行する。

※ここに記したのは大まかな流れであって、引いた矢が甲矢か乙矢かの確認方法や、先攻後攻の宣言方法は多少の誤差を許容するものとする。あくまで、先攻後攻がランダムに決定されることを肝要とする。

6. 試合開始前準備

競技校

- ① 試合開始の準備を始める。
- ② 立合から受け取った相手校の立順登録用紙を確認する。

※万が一、間違いを発見した場合は立合に報告すること。

立合校

- ① 立順登録用紙の確認を行う。照合項目は必ず確認すること。

【立順登録用紙受け取り時の照合項目】

- ① 選手登録用紙に登録されている氏名と比較して、誤字脱字がないか。
→あった場合、当該校に確認する。
→立順登録用紙の情報が誤りがあった場合、正しく書かれたものを立合校宛て・相手校宛てともに再提出させる。
→選手登録用紙の情報が誤りがあった場合（訂正報告が学連にされていない）、正しい情報を当該校に確認し、その情報をもとに照合する。なお、選手登録用紙の情報が誤りがあった場合については、発覚次第すぐに本連盟に報告すること。
→立合校宛て・相手校宛てともに訂正後の立順登録用紙が提出されたのを確認して、競技開始を宣言する。
- ② 選手登録用紙と比較して、学年が正しく記入されているか。
→間違っていた場合、①と同様に対応する。
- ③ 学連指定の用紙で書かれているか。
- ④ 記入例と同様に記入されているか。
- ⑤ 正しい情報（氏名、学年）を、自分が公式記録用紙に記入できているか。

※漢字間違い、誤字脱字がないか主審と副審で相互確認をすること。

※全て同じ内容で通知されているか確認すること。

※全ての選手の照合が終わるまで、絶対に試合を開始させないこと。

- 照合間違いに気づくことなく、試合を開始してしまった場合、立合が懲戒処分の対象となります。絶対に確認を怠らないでください。

- ② 競技校に照合が完了した立順登録用紙を渡す。
- ③ 公式記録用紙・黒板(ホワイトボード)に選手名を記入する。
- ④ 本座に選手が並び始めたら立合校は毎回ひとりひとりの名前と顔を照合する。また、漢字間違いがないか、本人に確認する。

7. 試合中

入場順について (A 大学先攻の場合)

男子	1 立目	2 立目	3 立目	4 立目
4 射目	A 大学 壺の立	B 大学 壺の立	A 大学 貳の立	B 大学 貳の立
8 射目	B 大学 壺の立	A 大学 壺の立	B 大学 貳の立	A 大学 貳の立
12 射目	A 大学 壺の立	B 大学 壺の立	A 大学 貳の立	B 大学 貳の立
16 射目	B 大学 壺の立	A 大学 壺の立	B 大学 貳の立	A 大学 貳の立
20 射目	A 大学 壺の立	B 大学 壺の立	A 大学 貳の立	B 大学 貳の立

女子	1 立目	2 立目
4 射目	A 大学	B 大学
8 射目	A 大学	B 大学
12 射目	A 大学	B 大学
16 射目	A 大学	B 大学
20 射目	A 大学	B 大学

競技校

- ① 準備が完了したら本座に並ぶ。立合からの顔と名前の照合手続きが終了し、「はじめ。」の合図で入場する。
- ② 的場にいる競技校の部員は、主審に合わせて的中確認を行い、的中照合完了後、「結構です。矢取りお願いします。」の合図で矢取りを行う。

※照合完了前に絶対に矢に触れてはいけない。

- ③ 選手交代をする際には以下の手順で行うこと。
 - 立合校・競技校分の選手交代届を記入する。
※同一人物が記入することを強く推奨する。
※学連指定の書類を使用すること。
※記入例と同様に記入する。
 - 記入した選手交代届を**立合に提出**する。
※相手校と立合校に提出する分をまとめて立合校に提出する。

立合校

- ① 本座に選手が並び始めたら立合校は毎回ひとりひとりの氏名と顔を照合する。また、漢字間違いがないか、本人に確認する。
 - ・通知されていない選手交代がされていないか、的場に人がいないかの確認を怠らないこと。
- ② 照合並びに選手と立合の準備が完了したら「はじめ。」の合図を出し、試合を開始する。
※本座線を越えて入場開始後に照合間違いが発覚した場合には、直ちに学連事務所まで電話をすること。
※本座線を越えて入場する前に照合を完了してください。
- ③ 主審は師範席にて進行状況を確認しつつ公式記録用紙に的中を記録する。
- ④ 立間で黒板(ホワイトボード)に各選手の的中を記録する。
 - ・公式記録用紙との齟齬が無いように注意すること。
- ⑤ 主審は的中確認を行う。以下の手順での的中確認を行うこと。
 - 落の選手が本座まで退場並びに安全確認が出来次第、「**お願いします。**」と合図して的中確認を行う。
※全ての的中確認が終わるまで**矢に触れさせない**。
確認前に矢に触れた場合、**その的中全ての矢を外れ**とする。
※不明な矢が出た場合、主審自らの的場に行って確認する。
決して**矢に触れてはならない**。「的中の指針」を参照する。
解決しない場合は学連事務所に速やかに連絡し、判断を待つ。
 - 公式記録の的中と確認内容に誤りがなければ「**結構です。矢取りお願いします。**」と合図を出す。
※照合の中で齟齬が見つかった場合、その都度「**失礼しました。もう一度お願いします。**」と指示を出し、もう一度的中の確認をしてもらう。
- ⑥ 行射の妨げとなる危険矢が出た場合、行射を一時中止し当該的のみの中確認を行う。確認の仕方は以下の順序で行う。
 - 危険矢が出たタイミングで「**次の取弾をお待ちください。**」と合図。
 - 安全確認が取れ次第、当該的の的中確認と矢取りを行わせる。
※行射終了の的中確認は、取り除いた矢の的中を含める。

例)○×(1・2本目)→2本目が危険矢/的中確認・矢取り・行射再開
→○○(3・4本目)→行射終了後の的中確認「三中(○×/○○)」

- ⑦ 立合校は、選手交代の処理を行う。照合の手順は以下の通りとする。
- 競技校宛てと立合校宛て両方の交代届の内容と、選手登録用紙の情報を照合する。確認が取れ次第、公式記録用紙へ記入する。
 - ※ 立合校、相手校双方への書面での通知、および立合校による照合が完了して初めて、交代を含めた立を開始することができる。交代が正式に受理される前に当該選手が本座より先に進んでしまった場合、不正な交代と判断し、その選手の行射および的中は全て外れとする。
 - 競技校に照合が完了した選手交代届を渡す。
 - 公式記録用紙・黒板(ホワイトボード)に交代選手名を記入する。
 - 本座に選手が並び始めたら立合校は毎回ひとりひとりの氏名と顔を照合する。また、漢字間違いがないか、本人に確認する。
- ※公式立順用紙の補欠欄に記載のない選手の交代は認めない。
- ※正規の書類・手続きを用いない交代選手の矢は全て外れとする。
- ※同一試合中の再出場は認めない。
- トラブル対応については以下に記述する内容を参考にすること。それでもわからない場合は、すぐに学連事務所に問い合わせること。

【交代届受け取り時の照合項目】

- ① **選手登録用紙に登録されている氏名と比較して、誤字脱字がないか。**
→あった場合、当該校に確認する。
→交代届の情報に誤りがあった場合、正しく書かれたものを立合校宛て・相手校宛てともに再提出させる。
→選手登録用紙の情報に誤りがあった場合（訂正報告が学連にされていない場合）、正しい情報を当該校に確認し、その情報をもとに照合する。なお、選手登録用紙の情報が誤っていた場合については、発覚次第すぐに本連盟に報告すること。
→立合校宛て・相手校宛てともに訂正後の選手交代届が提出されたのを確認して、競技再開を宣言する。
- ② **選手登録用紙と比較して、学年が正しく記入されているか。**
→間違っていた場合、①と同様に対応する。
- ③ **学連指定の用紙で書かれているか。**
- ④ **記入例と同様に記入されているか。**
→**何射目からの記載がされているか必ず確認すること。**
- ⑤ **正しい情報（氏名、学年）を、自分が公式記録用紙に記入できているか。**

※漢字間違い、誤字脱字がないか主審と副審で相互確認をすること。

※全て同じ内容で通知されているか確認すること。

※全ての選手の照合が終わるまで、絶対に試合を開始させないこと。

- **照合間違いに気づくことなく試合を開始してしまった場合、立合が懲戒処分の対象となります。絶対に確認を怠らないでください。**

⑧ 的が外れた場合、以下の順序で対処する。

- 次の取弾を止め、安全確認次第、「お願いします。」と言う。
- 当該の的の的中確認をさせる。

行射終了の的中確認は、的が外れる前の矢の的中を含める。

例) ○×(1・2本目)→2本目が危険矢/的の中確認・矢取り・行射再開
→○○(3・4本目)→行射終了後の的中確認「三中(○×/○○)」

※立後の的中確認同様、確認が終わるまで矢に触れさせない。

- 当該の的で引く、両校(各校)の選手を集め、再度持ち的の確認を行う。
確認が取れ次第、「結構です。的を掛けてください。」と言う。

- その他トラブルが起きた場合、規約及び要項を確認して処理する。判断がつかない場合は学連事務所に連絡する。
- 試合中に的中外れ事案が発生した場合は、速やかに学連事務所へ連絡する。

8. 閉会式

競技校

- ① 競技終了後、速やかに身支度を行う。
- ② 立合からの結果照合に応じる。
- ③ 試合結果に関わらず、上位校から退場する。
※入替戦・順位決定戦のみ勝利校から退場する。

立合校

- ① 各校に試合結果の確認を取る。順序は以下のようにする。
 - 主審が公式記録用紙を持ち、上位校から順に主将の前で正座し、揖をして礼をする。
 - 小声で、「記録用紙の確認をお願いいたします。」と言う。
 - 承諾が取れたら、礼をして揖をして立つ。
 - 再び主審・副審が師範席前に揃う。
- ② 勝敗宣言を行う。順序は以下のようにする。
 - 「ご集合願います。」と言い、両校の選手を整列させる。
 - 整列後、「只今の試合の結果、(先攻)_____大学_____中、(後攻)_____大学_____中、よって、_____大学の勝ちとさせていただきます。」と言う。
 - 皆中賞の選手がいた場合は、「尚、只今の試合で_____大学_____年_____さんが皆中賞を獲得いたしました。」と言う。
 - その後、「双方(各校)、礼。」と言う。

※同中競射について

→大きく変わるのは

- ・集合、矢振りを行わない。
 - ・最終的な勝敗宣言の際に参照する的中が、競射の的中のみになること。
- である。

以下に流れを記載するので、同中競射が発生した場合は参照すること。

競技校

- ① 控えて選手全員待機する。
- ② 立合校からの結果照合に応じる。
- ③ 主審から「選手は準備を開始してください。」と言われたら全員で「はい。」と返事をする。
- ④ 選手は準備を開始する。

※このタイミングでの選手交代は認められる。

立合校

- ① 試合結果の確認後、射位の位置で「只今の試合の結果、(先攻)_____大学_____中、(後攻)_____大学_____中、よって同中競射となりましたので、(一手競射・一本競射)を執り行います。」「選手は準備を開始してください。」と言う。
- ② 競射の先攻・後攻については、**試合の先攻・後攻に準ずる。**
- ③ 一手競射を行う。これでも決着がつかなかった場合、決着がつくまで一本競射を行う。一本競射においても、試合の先攻・後攻に準ずる。

※男子の試合において競射が続く際でも先攻・後攻は変わらないものとする。

そのため、競射を一度行うごとに「公式記録の確認→結果宣言→競射実施の宣言」の流れを行う。

- ④ 決着がついたら、公式記録の確認を行ったうえで、整列を行う。
「ご集合願います。」と言い、整列させる。
- ⑤ 直前の決着がつくに至った競射の結果のみを参照して、勝敗宣言を行う。
「只今の競射の結果、(先攻)_____大学_____中、(後攻)_____大学_____中、よって_____大学の勝ちとさせていただきます。
双方(各校)、礼。」

※皆中賞がいる場合には、閉会式の文言を参照すること。

9. 連盟に結果報告

立合校

- ① 別途公開される試合結果報告用 Google フォームに必要事項を試合会場から出る前に記入する。
- ② 提出書類について学連側から問い合わせる可能性があるため、立合を行ったその日は試合が終わった後も、電話が通じるようにしておくこと。場合によっては、役員個人の携帯電話で問い合わせることもあるため、可能な範囲で知らない番号からの着信にも対応できるようにしておくこと。

10. その他の連絡事項

・わからないことがあった場合、わからないままにしておくのではなく、一度試合の進行を止めて学連に確認・問い合わせを必ず行うこと。現場が保存されている状況があれば、連盟として対処できる可能性が多いことは、立合をする上で理解しておくこと。

例)不明矢が発生し、主審が的場に行って確認したが、判断がつかなかった。
→現場を保存し、学連事務所で待機している役員に電話で問い合わせることで、ある程度対応できる(当該の不明矢について、写真を送ってもらう等)。

わからないままに的中確認をし、矢取りが行われた場合、公平性が損なわれる可能性がある。

学連事務所

TEL:03-6910-0791

▶ 試合中のトラブルシューティング

★立合・対戦校が附矢開始 30 分前に間に合わない場合

○学連事務所に速やかに連絡する。

TEL 03- 6910-0791

→待機している学連役員が、各校責任者に取り次ぎます。

★対戦校が遅刻した場合

○どちらか一方の大学が会場に到着していなくても開始してよい。

→対戦校が来ない場合はすぐに**学連事務所に連絡**する。

○遅刻の連絡があった場合、附矢終了後に両校がそろうまで待機させる。

○試合開始時刻に間に合わない場合は遅刻した大学の棄権とみなす。

その際、**必ず学連事務所に連絡**すること。

(但し学連側の不手際や天変地異などの正当な理由がある場合は除く。)

★選手登録用紙に登録されていない選手がいる場合

○責任者に選手登録されていない者は出場が認められないことを伝える。

→解決しない場合は速やかに学連事務所に連絡する。

【学連規約より抜粋】

第五十三条《出場資格》

②出場資格のない選手が出場した場合、当該選手の矢は全て外れとする。

★確認前に矢に触れてしまった場合

○その的全ての矢を外れとする。

的中規定は次の規定に従う。

【学連規約より抜粋】

第三十七条《的中規定》

③行射終了後、的中確認をする前に矢または的に接触した場合、その的全ての矢を外れとする。なお、接触行為の有無に関する判断は審判が行う。

★不明な矢が出た場合

○主審自らの場で確認する。その際、決して矢に触れてはならない。

○「規約の解釈」を参照(学連規約冊子に添付)する。

→解決しない場合は学連事務所に速やかに連絡し、判断を待つ。

★不適切な選手交替がなされた場合

【学連規約より抜粋】

〈リーグ戦の場合〉

第六十四条《選手の通知》

- ① 各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手八名と控え四名の氏名を立合い及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく本座線を越えて入場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。

第六十六条《選手交代の通知》

選手交代する時には、当該する立が本座線を越えて入場する前に立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく交代選手が本座線を越えて入場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。

★失矢について

- 「弓の本弭が膝から離れたあとに落ちた矢」を失矢とみなす。
→ただし、失矢かどうかの判断は立合が行う。
※上記の失矢基準は日弓連とは異なっているので注意

★監督・介添の指導について

以下の行為を行った場合、該当する全体的の矢を外れとする。

【学連規約より抜粋】

第四十六条《監督・介添の指導》

- ① 選手が射位にいるとき監督・介添・観客・選手間で次の行為をしてはならない。
 - 一、選手の体に触れて指導すること。
 - 二、選手の狙いを見て伝えること。※¹
 - 三、射位より前に出ること。
 - 四、選手が審判の死角となる位置に出ること。
- ② 前項第一号、前項第二号の行為を行った場合、当該行為以降の該当選手の矢を全て外れとする。
- ③ 審判が必要と認めた場合、第一項第三号に該当する行為を許可する。
- ④ 本座線を越えて選手を指導できる介添は、各立につき一名のみとする。二人以上が本座線を越えて指導した場合、二人目以降が指導した以降の該当選手の全体的の矢を外れとする。
※¹上下左右・前後・天地・的を時計の文字盤に見立てた方向（三時、九時等）を伝えることを禁止とする。

★引き直しについて

【学連規約より抜粋】

第四十五条《引き直しの規則》

- ① 打起しを開始した以降の引き直しはこれを認めない。但し、試合運営に支障が生じる場合を除く。なお、試合運営に支障が生じる場合とは突発的な災害や事故及び危険な場合であり、引き直しに該当するかどうかの判断は審判が行う。
- ② 打起しの基準は、本弭が膝頭から離れた瞬間とする。
- ③ 当該校が引き直しを主張できるのは当該選手が次の矢の打起しを行うまでとする。但し、最終矢に関しては、的中確認まで主張できるものとする。

※引き直しの手順

- ① 選手から引き直しの要請がある。
- ② 立合の指導の下、行射を停止する。
- ③ 引き直しを行うかどうかの判断をする。
- ④ 行射再開後、全選手の行射終了を待つ。
- ⑤ 的中確認および矢取りをする。
- ⑥ 主審の指導で引き直しを行う。

➤ FAQ

- Q. リーグ戦の空き週はいつになりますか？
- A. リーグ・ブロック内で大学が5校揃っている場合は、第I週から順に、3位、1位、5位、2位、4位となっています。
- Q. 道場入場の時、入場許可の確認は必須ですか？
- A. 規約や実施要項に該当する規定はありませんので、どちらでも構いません。下位校として道場に入場するときは、立合が到着していない場合でも、そのまま道場に入場して待機するか、会場校の道場番に確認をとって入場して下さい。
- Q. 試合終了後、道場を退場する順番を教えてください。
- A. 一部の加盟校では、勝利校から先に退場する慣習があるようですが、基本的には上位校から順に退場するものと考えております。

➤ 不可抗力的理由に伴う日程変更と対策について

試合実施日時変更は原則認めないものとする。

万が一自然災害等を理由に試合実施が見込めない場合は学連委員長の判断でのみ、日時が変更される場合がある（詳細は後述）。

第2部 入替戦・順位決定戦等について

➤ 試合日程表

10月27日(日)	順位決定戦 東西選手決定競射
11月3日(日)	入替戦

※試合進行表は、第I週～第V週までと同様である。第1部に掲載されている試合進行表および試合の流れを参照すること。

※日時は道場の使用状況によって、前日の土曜日になる可能性がある。その際は学連から事前に通達があるので、各校、留意しておくこと。

➤ 三つ巴以上の順位決定戦・入替戦について

※基本的な試合の流れは【試合進行詳細】に沿うものとする。

附矢前

① 挨拶について

・挨拶は下位校から順番に行う。

② 射場控えについて

・座る場所は二校の時と同様、上座から上位校順で座る。

・同リーグでブロックが異なる場合は、アルファベットの若い方を上位とする。

附矢中

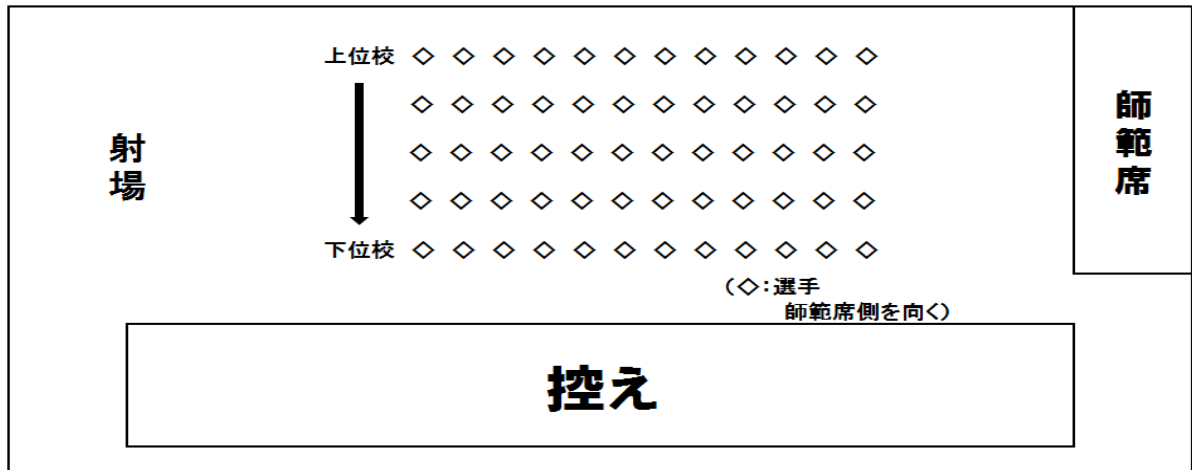
① 附矢時間について

・的数に応じて時間の延長は可能だが、延長する際は、原則の設定されている時間と一校あたり使える時間の積は一定にすること。原則としている90分は、8的展開、一校4的での場合を想定しているものとする。

例)9的展開で三つ巴戦の附矢を行う場合

→一校当たり三的使うことになるので、附矢時間は原則 $90 \times \frac{4}{3} = 120$ 分。

試合開始と試合終了後の並び方



試合の進行方法

① 矢振り

- ・先ず始めに、甲矢を1本と乙矢を2本入れ、先攻だけを決定。次に、乙矢を取った二校が改めて矢振りを行い、甲矢を取った大学が中攻、乙矢を取った大学が後攻となる
- ・四ツ巴・五ツ巴の場合は乙矢の数を増やし、同じ要領で行う。
(矧ぎ糸に数字を書き、一度の矢振りで全ての順番を決めることも可)

② 試合進行

- ・順番は入れ替えずに進める。
- ・男子の場合は、原則一立8人(同じ大学の壺之立・弍之立が同時に入る)で、一、五同時打起で行うこと。
- ・女子の場合は、原則一立4人で一校ずつ行射すること。

③ 応援・看的の声出しについて

- ・道場説明に従う。
- *その他分からない事があれば、学連まで問い合わせること。

➤ 東西対抗戦出場選手決定競射について

使用道場について

原則、該当選手がリーグ戦・順位決定戦・入替戦・リーグ期間中の練習試合などにおいて、道場使用回数に不公平が無い道場を使用する。

開催の有無に関する判断・連絡

主催（東京都学生弓道連盟）が各種連絡手段を用いて連絡する。

試合名称

「第〇〇回伊勢神宮奉納射会 東西対抗戦出場者決定競射」とする。

試合方式

- ・ 的中率同位の選手によって、二十射の的中数の合計によって競う。
- ・ 同中だった場合は一本競射を行う。的は試合を通して尺二的を使用し続ける

進行表

9:30	役員・該当選手	集合
10:00	附矢	開始
10:40	附矢	終了
10:50	記録会	開会式
11:00	記録会	開始

補足

- ・ 立と立の間は五分の間隔を空ける。
- ・ 応援は禁止とする。
- ・ その他わからないことがあれば、直ちに学連事務所まで問い合わせること。

➤ リーグ戦個人的中記録会について

参加条件 ※①～④を全て満たしている必要あり

- ① 相手校の棄権、リーグ・ブロック内の不出場校の発生および大学数の不足により、試合数が1試合以上3試合未満であり、個人的中率の表彰資格を得られない大学の選手
- ② 棄権試合・順位決定戦・入替戦・同中競射の行射を除く全ての行射を行っている大学の選手
- ③ 暫定の個人表彰該当者と比較し、表彰される可能性のある大学の選手
- ④ 所属する大学の代表者より記録会開催の申請があった場合

該当とならない例

- ・電車遅延や病欠など規約外の理由により、①②を満たさない場合。
- ・選手交代により規定試合において20射引ききっていない場合。
- ・暫定の的中率上位者(十傑、新人賞)の最低ラインに及ぶ可能性が無い場合等。

試合について

【使用道場に関して】

該当選手が、リーグ戦・女子部リーグ戦・順位決定戦・入替戦・リーグ期間中の練習試合において、道場使用回数に不公平が無い道場を使用する。

【競技方法】

- ・参加選手は一立四射で二十射の行射を行う。
- ・行射は奇数的同時打起しで実施し、追い越し発射は外れとする。

【進行表】

9:30	役員・該当選手	集合
10:00	附矢	開始
10:40	附矢	終了
10:50	記録会	開会式
11:00	記録会	開始

補足

- ・**記録会は原則予備日に行う。**
- ・参加者が少なく連立ちとなる場合は、立と立の間に五分の間隔を空ける。
- ・応援は禁止とする。
- ・その他わからないことがあれば、直ちに学連事務所まで問い合わせること。

➤ 試合中のトラブルシューティング

※第1部試合中のトラブルシューティングを参照すること。

➤ FAQ

- Q. 三ッ巴・四ッ巴・五ッ巴の道場入場のタイミングを教えてください。
- A. 最下位校から最上位校下位校から順に入場してください。
- Q. 試合終了後、道場を退場する順番を教えてください。
- A. 一部の加盟校では、勝利校から先に退場する慣習があるようですが、基本的には上位校から順に退場するものと考えております。

第3部 参考資料

➤ リーグ入替方式（対戦校の決定方法）について

男子入替戦組み合わせ表

	I 部	A大学 B大学 C大学 D大学 E大学			
		E対F			
	II 部	F大学 G大学 H大学 I大学 J大学			
		J対K対P			
III 部		K大学 L大学 M大学 N大学 O大学		P大学 Q大学 R大学 S大学 T大学	
		O・T の的中率下位校 対 あ・か・さ の的中率上位校			
		O・T の的中率上位校 対 あ・か・さ の的中率中位校			
		N・S の的中率下位校 対 あ・か・さ の的中率下位校			
IV 部		あ大学 い大学 う大学 え大学 お大学		か大学 き大学 く大学 け大学 こ大学	
		さ大学 し大学 す大学 せ大学 そ大学			
		お・こ・そ の的中率上位校 対 た・な・は の的中率下位校			
		お・こ・そ の的中率中位校 対 た・な・は の的中率中位校			
		お・こ・そ の的中率下位校 対 た・な・は の的中率上位校			
V 部		た大学 ち大学 つ大学 て大学 と大学		な大学 に大学 ぬ大学 ね大学 の大学	
		は大学 ひ大学 ふ大学 へ大学 ほ大学			

女子入替戦組み合わせ表

I 部			
A大学 B大学 C大学 D大学 E大学			
E対F対K			
II 部	F大学 G大学 H大学 I大学 J大学	K大学 L大学 M大学 N大学 O大学	
J・O の的中率下位校 対 あ・か・さ の的中率上位校 J・O の的中率上位校 対 あ・か・さ の的中率中位校 I・N の的中率下位校 対 あ・か・さ の的中率下位校			
III 部	あ大学 い大学 う大学 え大学 お大学	か大学 き大学 く大学 け大学 こ大学	さ大学 し大学 す大学 せ大学 そ大学
お・こ・そ の的中率上位校 対 た・な・は の的中率下位校 お・こ・そ の的中率中位校 対 た・な・は の的中率中位校 お・こ・そ の的中率下位校 対 た・な・は の的中率上位校			
IV 部	た大学 ち大学 つ大学 て大学 と大学	な大学 に大学 ぬ大学 ね大学 の大学	は大学 ひ大学 ふ大学 へ大学 ほ大学
と・の・ほ の的中率下位校 対 ま・や の的中率上位校 と・の・ほ の的中率中位校 対 ま・や の的中率下位校 と・の・ほ の的中率上位校 対 み・ゐ の的中率上位校			
V 部	ま大学 み大学 む大学 め大学 も大学	や大学 ゐ大学 ゆ大学 ゑ大学 よ大学	

➤ 台風等の気象対策について

はじめに

台風接近時または試合実施予定日に台風の接近により各種被害が予想される場合、当連盟は一律に試合の実施に関して、オープンチャット・メーリスなどの各種手段を通して通達する場合がある。通達があった場合、競技校・立合校をはじめとした各加盟校は通達の内容に従って行動することを要請する。

原則

- ・本連盟からの通達内容は原則的に一律に要請をするものであるが、本連盟が最終的に「実施可能」と判断した以後は各試合会場の関係者の裁量による試合の実施判断はこれに優越するものとする。ただし、実施不可能と判断した際は本連盟に連絡し、相談する必要があるものとする。
- ・特段通達がないが、現地の状況的に試合の実施が困難な場合等は本連盟にその旨を連絡し、指示を乞うこと（事前報告・相談制）。
 - 例) ・大学規定により、気象警報が出ている状態では施設利用できない。
 - ・現場の状況的に正常な試合実施が懸念され、判断に迷う場合。
- ・第 I～V 週までに台風等により延期が決定され試合が延期された場合、延期された試合は予備週に実施するものとする。万一予備週の所定日に試合が実施できない可能性がある場合は可及的速やかに本連盟に連絡・相談すること。

開催判断方法について

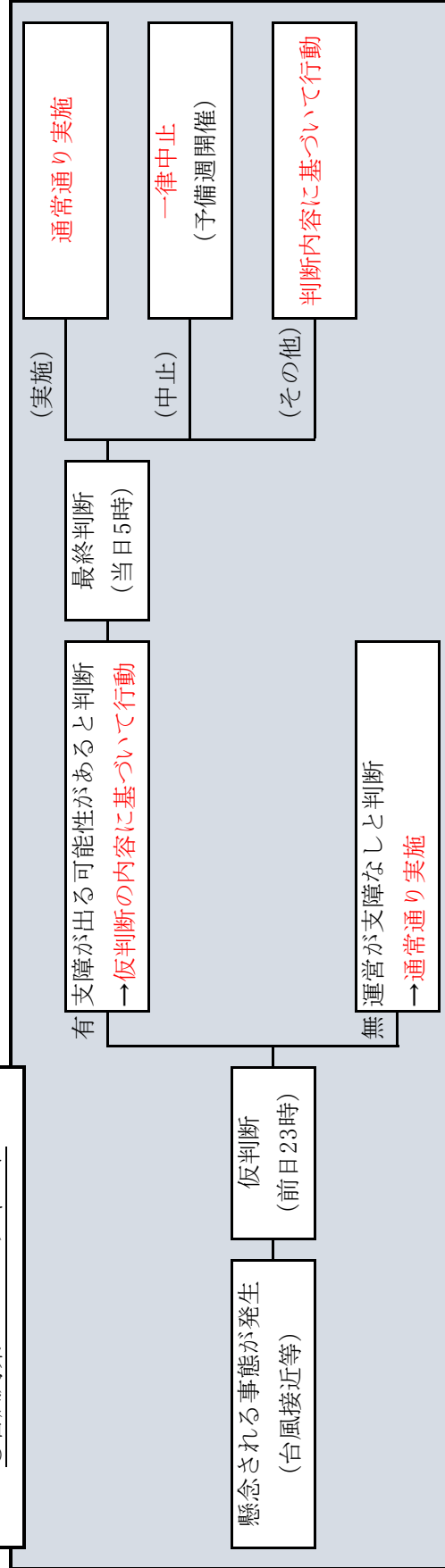
①仮判断（試合日前日 23 時）

- 試合実施日前日の 23 時に本連盟役員間で仮判断を行う。天気予報などを総合的に鑑み、方針を決定する。なお、方針決定は最終的に連盟委員長が決定し、オープンチャット等を通して周知するものとする。
- 仮判断を行うか否かについては試合実施日前日正午までに加盟校に通知するものとする。

②最終判断（試合実施日当日 5 時）

- 試合実施日当日の午前 5 時に本連盟役員間で試合の実施可否に関して最終判断を行う。最終判断は仮判断と同様、天気予報などを総合的に鑑みて判断するものとし、最終的に連盟委員長が決定する。最終判断の内容はオープンチャット等などを通して周知するものとする。

○台風対策 フローチャート



➤ 規約の補足

① 東京都学生弓道連盟 第九章競技規則 第二節リーグ戦規定より

《リーグ編成》

第五十五条

- ① 加盟校はⅠ部・Ⅱ部・Ⅲ部・Ⅳ部・Ⅴ部に分類し、Ⅲ部はA・Bに分割、Ⅳ部・Ⅴ部はA・B・Cに分割する。なお原則として各ブロックにつき五大学とする。

細分化することで、1年次の入部時点から4年間でⅠ部リーグまでの昇格を目指すことが出来る。

- ③ 新規加盟した大学及びリーグ戦に二年連続不出場した大学は最下部最下位とする。

《立合に対する懲戒》

第六十二条

立合に不都合な行為があった場合、本連盟は試合当事校・立合の双方から事実確認の上、第二十八条に基づいて**立合校に懲戒を行う**ことが出来る。

《先攻・後攻の決定》

第六十三条

- ① 試合の先攻・後攻は、矢振りによって決定する。
- ② 競射の先攻・後攻は、**試合の先攻・後攻に準ずるもの**とする。

今期から競射の集合・矢振りは行わない。

《選手の通知》

第六十四条

- ① 各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手八名と控え四名の氏名を立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく**本座線を越えて入場した場合**、当該選手の矢を全て外れとする。
- ② 選手交代の通知については第六十六条に従う。

《選手交代の通知》

第六十六条

選手交代する時には、当該する立が本座線を越えて入場する前に立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく交代選手が**本座線を越えて入場した場合**、**当該選手の矢を全て外れ**とする。

《棄権》

第六十七条

- ① 出場校が棄権した場合、相手校の勝利とする。
- ② 次の各号に該当する場合、立合は相手校と協議の上、当該大学を棄権とみなすことが出来る。**なお、棄権の最終決定は本連盟が行う。**
 - 一、試合当日無断欠席した場合。
 - 二、試合開始時刻に無断または正当な理由なくして遅刻した場合。
 - 三、出場選手が選手定員に満たない場合。
- ③ 正当な理由なく棄権した場合、本連盟は第二十八条に基づき懲戒を行うことが出来る。

《リーグ戦期間中の練習試合について》

第七十七条

リーグ戦期間においては加盟校の道場での練習試合を禁止する。なお事前に当連盟に申告し、当連盟が認めた場合のみ練習試合を認める。

予備週の場合、合同練習・練習試合を認める可能性がある。
※必ず本連盟まで連絡すること。詳細は実施要項参照。

《入替戦組み合わせ》

第七十八条

- ③ リーグ戦Ⅲ 部—Ⅳ 部入替戦組み合わせは、次の通りとする。
- 一、Ⅲ 部A B 五位二校のうちの的中率下位—Ⅳ 部A B C 一位のうちの的中率一位
 - 二、Ⅲ 部A B 五位二校のうちの的中率上位—Ⅳ 部A B C 一位のうちの的中率二位
 - 三、Ⅲ 部A B 四位二校のうちの的中率下位—Ⅳ 部A B C 一位のうちの的中率三位
- ④ リーグ戦Ⅳ 部—Ⅴ 部入替戦組み合わせは、次の通りとする。
- 一、Ⅳ 部A B C 五位三校のうちの的中率一位—Ⅴ 部A B C 三校のうちの的中率三位
 - 二、Ⅳ 部A B C 五位三校のうちの的中率二位—Ⅴ 部A B C 三校のうちの的中率二位
 - 三、Ⅳ 部A B C 五位三校のうちの的中率三位—Ⅳ 部A B C 三校のうちの的中率一位
- ⑤ 本連盟が入替戦の組み合わせを加盟校に公表する以前に、リーグ戦の不出場又は入替戦の棄権を本連盟に連絡した場合、組み合わせは本連盟が裁定する。また、その時の入替戦の組み合わせは、入替戦出場校の中で順位のより高い大学が、順位が同じときはその中でよりの的中率の高い大学が優先的に部への残留・昇格の機会を得られるものとする。但し、組み合わせがリーグ・ブロック内の最上位または最下位以外の大学にわたる場合は、棄権校が発生した相手方のリーグの順位の高い大学のうち、的中率の高い大学が優先的に上部への残留・昇格の機会を得られるよう裁定する。

入替戦組合せは各種データの照合・集計後に発表している。万一、学連が出した対戦カードの誤りを発見したり疑問がある場合は、学連まで連絡すること。

《実施要項への委任》

第七十九条

その他リーグ戦に関する事項は実施要項・大会要項によって定める。

② 東京都学生弓道連盟 第九章競技規則 第三節女子部リーグ戦規定より

《立合に対する懲戒》

第九十二条

立合に不都合な行為があった場合、本連盟は試合当事校・立合の双方から事実確認の上、第二十八条に基づいて**立合校に懲戒を行う**ことが出来る。

《先攻・後攻の決定》

第九十三条

- ① 試合の先攻・後攻は、矢振りによって決定する。
- ② 競射の先攻・後攻は、**試合の先攻・後攻に準ずるものとする。**

《選手の通知》

第九十四条

- ① 各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手八名と控え四名の氏名を立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく**本座線を越えて入場した場合**、当該選手の矢を全て外れとする。
- ② 選手交代の通知については第九十六条に従う。

《選手交代の通知》

第九十六条

選手交代する時には、当該する立が本座線を越えて入場する前に立合及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく交代選手が**本座線を越えて入場した場合**、**当該選手の矢を全て外れ**とする。

《棄権》

第九十七条

- ① 出場校が棄権した場合、相手校の勝利とする。
- ② 次の各号に該当する場合、立合は相手校と協議の上、当該大学を棄権とみなすことが出来る。なお、**なお、棄権の最終決定は本連盟が行う。**
 - 一、試合当日無断欠席した場合。
 - 二、試合開始時刻に無断または正当な理由なくして遅刻した場合。
 - 三、出場選手が選手定員に満たない場合。
- ③ 正当な理由なく棄権した場合、本連盟は第二十八条に基づき懲戒を行うことが出来る。

《リーグ戦期間中の練習試合について》

第一〇五条

リーグ戦期間においては当連盟に貸出を行う加盟校の道場での練習試合を禁止する。なお事前に当連盟に申告し、当連盟が認めた場合のみ練習試合を認める。

予備週の場合、合同練習・練習試合を認める可能性がある。
※必ず本連盟まで連絡すること。詳細は実施要項参照。

《入替戦組み合わせ》

第一〇六条

- ② 女子部リーグ戦Ⅱ部―Ⅲ部入替戦組み合わせは、リーグ戦Ⅲ部―Ⅳ部入替戦組み合わせに準じる。
- ③ 女子部リーグ戦Ⅲ部―Ⅳ部入替戦組み合わせは、リーグ戦Ⅳ部―Ⅴ部入替戦組み合わせに準じる。

入替戦組み合わせは各種データの照合・集計後に発表している。万一、学連が出した対戦カードの誤りを発見したり疑問がある場合は、学連まで連絡すること。

- ④ 女子部リーグ戦Ⅳ部―Ⅴ部入替戦組み合わせは、次の通りとする。
 - 一、Ⅳ部A B C五位のうちの中率三位―Ⅴ部A B一位二校のうちの中率上位
 - 二、Ⅳ部A B C五位のうちの中率二位―Ⅴ部A B一位二校のうちの中率下位
 - 三、Ⅳ部A B C五位のうちの中率一位―Ⅴ部A B二位二校のうちの中率上位
- ⑤ 本連盟が入替戦の組み合わせを加盟校に公表する以前に、女子部リーグ戦の不出場又は入替戦の棄権を本連盟に連絡した場合、組み合わせは本連盟が裁定する。また、その時の入替戦の組み合わせは、入替戦出場校の中で順位のより高い大学が、順位が同じときはその中でよりの中率の高い大学が優先的に部への残留・昇格の機会を得られるものとする。但し、組み合わせがリーグ・ブロック内の最上位または最下位以外の大学にわたる場合は、棄権校が発生した相手方のリーグの順位の高い大学のうち、的中率の高い大学が優先的に上部への残留・昇格の機会を得られるものとする。

《実施要項への委任》

第一〇七条

その他女子部リーグ戦に関する事項は実施要項・大会要項によって定める。